

市議会だより

かしば

人・街・暮らし

No.124

発行：香芝市議会 編集：香芝市議会だより編集委員会
連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市議会事務局 ☎76-2001(代)



まちにまったプールの時間!!
児童たちが元気に楽しく水泳を学んでいます



おもな内容

- ・平成21年5月臨時会の概要と結果…………… 2 P
- ・香芝市新型インフルエンザ対策特別委員会…………… 2 P
- ・平成21年6月定例会の概要と結果…………… 3 P
- ・一般質問…………… 4 P～9 P
- ・平成21年9月定例会会期予定…………… 10 P
- ・議会日誌…………… 10 P

平成21年 5 月第 3 回(臨時)香芝市議会結果

会期：平成21年5月29日の1日間

※ (追) 追加議案

議 案	議 案	結 果
議 第 28 号	香芝市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正することについて	修正部分を除く原案可決
議 第 29 号	平成21年度香芝市国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号) について	原案可決

議 員 提 案	提 出 者	結 果	
動 議	議第28号香芝市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正することに対する修正動議	川田 裕 下田 昭	修正案可決
発議第 1 号	香芝市新型インフルエンザ対策特別委員会の設置について	川田 裕	原案可決
決議第1号(追)	北朝鮮の核実験再開に断固抗議する決議	堀川 和行	原案可決
選第10号(追)	香芝市新型インフルエンザ対策特別委員会の委員の選任について	長谷川 翠	選 任

香芝市新型インフルエンザ対策特別委員会を設置!!



当委員会は、今後の流行に向け、新しい危機管理体制の構築と準備に万全を期すための調査及び検討を行っています。

委員長 下田 昭

副委員長 北川 重信

委員 河杉 博之 関 義秀
奥山 隆俊 川田 裕
堀川 和行 池田 英子 以上 8 名

当委員会は、去る 5 月 29 日の臨時会において設置の議決を受け、6 月 5 日、18 日、7 月 3 日、8 月 10 日、26 日の 5 回にわたり新型インフルエンザの対応に関する調査を行っている。

6 月 5 日開会の第 1 回特別委員会では、新型インフルエンザに対する市の組織体制や認識度及び対応等について検証し、6 月 18 日開会の第 2 回特別委員会は、新型インフルエンザに対して基礎的なことから理解を深めることを目的として、パンデミック^(※注 1)に向けた備えについて委員及び理事者が説明、解説を行った。

7 月 3 日開会の第 3 回特別委員会では、現在の国及び県との連携及び香芝市の取り組みや新型インフルエンザ・パンデミック^(※注 2)に向けた対策の目標決定、フェーズ 6 及び有毒性ウィルス発生時の香芝市の取り組みとして、緊急時行政組織体制、連絡体制、市民の問い合わせに関する受付体制など 9 項目について検証した。

また、8 月 10 日開会の第 4 回特別委員会では、理事者より提出された「新型インフルエンザ対策行動計画(案)」の内容について審査し、各委員から様々な意見・要望が出された。続く 8 月 26 日開会の第 5 回特別委員会においては、前回委員会で指摘した内容の確認を行うとともに、今後の感染拡大を防ぐための市民への配布用冊子について審査を行った。さらに国に対して新型インフルエンザ対策に関する意見書を提出することも全会一致で決定した。(要約)

※注 1、パンデミック：感染症の世界的な大流行

※注 2、フェーズ：感染症の広がり度合いを示すもの

(フェーズ 6：世界的な大流行が発生し、急速に感染が拡大する状態)

平成21年6月第4回定例会

平成21年第4回定例香芝市議会は、6月8日に召集され、19日までの12日間の会期で行われました。

本定例会は、平成20年度香芝市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてなど、報告事項4件を報告受理、香芝市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正することについてなど条例の一部改正2件を原案可決、選挙管理委員および選挙管理委員の補充員を選挙しました。また、議員提案による意見書2件を可決しました。



平成21年6月第4回（定例会）香芝市議会結果

議案	議案	結果
報第1号	平成20年度香芝市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理
報第2号	平成20年度香芝市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告受理
報第3号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	報告受理
報第4号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	報告受理
議第30号	香芝市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正することについて	原案可決
議第31号	香芝市職員の退職手当に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正することについて	原案可決
選第11号	香芝市選挙管理委員の選挙について	指名推選
選第12号	香芝市選挙管理委員の補充員の選挙について	指名推選

議員提案	提出者	結果
意見書第1号	川田 裕	原案可決
意見書第2号	中山武彦	原案可決

委員会付託議案

総務財政委員会
議第30号、議第31号、意見書第2号
民生文教委員会
意見書第1号



← 副知事に「意見書第1号」を提出する長谷川翠議長

「意見書第1号」は奈良県知事に、 「意見書第2号」は内閣総理大臣などへ提出

平成21年6月第4回定例会にて可決された、「意見書第1号」は、今後の急激な高齢化率上昇を迎える中、時間的猶予は限られ、社会保障費との関連性をも含め、早急の地域福祉支援計画の策定を求める趣旨から、奈良県知事に提出しました。

また、「意見書第2号」においては、平成21年度補正予算案の早期成立を期するとともに、地方自治体の財源確保に考慮し、きめ細かな対策を講じることを、内閣総理大臣及び総務大臣へ提出しました。

6月定例会の一般質問は6月15日、16日に行われ、11人の議員が市政全般にわたり市の見解をただししました。その内容は次のとおりです。
 ※詳細は、香芝市議会会議録検索システムweb上で掲載予定です。

一般質問 質問者・項目

※太字の項目は本文中に要約文を掲載。
 (掲載は質問順)

- **芦 高 省 五**
 - ・固定資産税について
 - ・道路事情について
 - ・交通問題について
- **河 杉 博 之**
 - ・21年度補正予算に伴う地域活性化対策の香芝市としての活用について
 - ・市内の地域内の公園の増設について
 - ・美化奉仕のあり方について
- **細 井 宏 純**
 - ・定額給付金の給付状況と効果について
 - ・新型インフルエンザについて
 - ・既成市街地に不足している子ども遊び場について
 - ・高齢化が急激に進む地域があり、地域によって年齢構成の格差が広がっていることについて
- **下 田 昭**
 - ・エコについて 香芝市の現状と取り組み
 - ・小学校のALTについて
 - ・通学路の安全確保について
- **中 村 良 路**
 - ・給食について
 - ・公共バスについて
 - ・選挙について
- **橋 本 元 秀**
 - ・歴史と伝統ある街づくりについて
 - ・明るく元気で安全な街づくりについて
 - ・守秘義務について
- **奥 山 隆 俊**
 - ・メンタルヘルスケアの現状と今後の対応について
- **川 田 裕**
 - ・香芝市の重要施策において、多大な借金により先送りしている事業を、今回の国の補正予算の運用にて、前倒しすることにより、3年後以降の市財政負担を軽減する計画を立てる必要性について
 - ・国・県の補助金がらみの施策で、市予算の経常経費につながるもの徹底改善を訴えてきた負担金支出方法の改善進捗状況について
 - ・学童保育の学年拡大、児童福祉施策の本質について
 - ・地域福祉計画の策定がスタートしたが、本年度の年間計画について
 - ・重複施策の一本化と、組織抜本改革の計画の進捗状況について
- **中 山 武 彦**
 - ・発達障がい児の総合的な支援策について
 - ・女性特有のがん検診推進事業について
- **池 田 英 子**
 - ・市の環境施策について
 - ・学童保育所について
 - ・医療費の中学校卒業までの無料化について
- **池 原 道 生**
 - ・学校グラウンドの芝生化について
 - ・男女共同参画について

<http://www.gijiroku.net/city.kashiba/>

芦 高 省 五 議員

▼ **固定資産税について**

(問) 固定資産税が高くなり払いたくても払えない状況の家庭がふえていると言われている。固定資産税を低くすることは考えられないか。

〔総務部長〕 固定資産税が高くなる要因としては、住宅用地に対する課税標準額の軽減との特例措置がなくなったことによることや、土地の地目変更の場合や新築住宅の減額措置がなくなった場合などである。また、固定資産税を低くすることについては、固定資産税は地方税法及び固定資産評価基準に基づいて評価を行い税額を算出するために、香芝市が裁量する余地がない。

(問) 土地の地目変更等により税額が上がると言われたが、なぜ、簡単に安くすることができないのか。厳しい経済状況のもと、何とかならないか、市民は大変困っている。

〔総務部長〕 農地から宅地が変わるときに評価額がなぜ上がるのかということであるが、農地と宅地の評価額は全く違うことから、宅地になれば評価額が上がり、その結果として税額が上がることになる。

▼ **道路事情について**

(問) 道路の傷みや穴あきに対して

の早急な対処について。
 〔産業建設部長〕 道路の傷みや穴あきは老朽化が原因と考えられており、いち早く異常を発見し、速やかに応急処理で対応している。今後も、道路等の安全パトロールを強化し、安全で安心な住みよいまちづくりに努めたい。

(要望) 香芝市内を走ると、整備不十分な道路も目につくことから、早急に整備し、対処してもらいたい。

▼ **交通問題について**

(問) 近鉄下田駅周辺の交通渋滞が甚だしいがその緩和策について。
 〔都市整備部長〕 近鉄下田駅周辺の交通渋滞解消として、中和幹線の早期完成、奈良西幹線の整備促進、磯壁北今市線の供用により、将来的には交通渋滞の改善が図られると考えている。また、通行車両が集中する国道165号、168号線の交差点周辺の混雑解消のために右折矢印信号の整備をし、平成二十二年度には、交差点改良工事を行いたいと考えている。
 (要望) 一日も早く関係機関と協議し、渋滞緩和に努めてもらいたい。



▲混雑する交差点 (下田)

河杉 博之 議員

▼21年度補正予算に伴う地域活性化対策の香芝市としての活用について

(問) 各所管の動向について。

〔総務部長〕地域の公共投資を円滑に実施できるように地域活性化・経済危機対策臨時交付金及び地域活性化・公共投資臨時交付金が創設され、現在、各課単位での素案が提出されている。今後は、事業費の調整を行い実施計画の策定作業を進めたい。

(問) 経済危機対策臨時交付金に対する、各所管課からの要望について。

この補正予算では、全四十六基金の中で地方自治体向けに十五基金があるが大半は県である。この中で、本市と関係がある項目があるのか。

〔総務部長〕経済危機対策臨時交付金においては、現在九課から約三億円の要望があり、優先度をつけて取捨選択したい。基金についてはまだ県から詳細な通知はないが、県と十分協議をした中で計画を作成したい。

▼市内の地域内の公園の増設について

(問) 市内各所のミニ開発された地域の公園の設置について。

〔産業建設部長〕ミニ開発された地域での公園設置は、区域内に空間も少なく計画していない。今後の地域の公園等の整備は、地元要望も踏まえ

た中で、親水機能や防災時の一時避難所としての利用など、多機能な親水公園等の整備を図りたい。

(問) ミニ

開発地域での公園整備が難しいのであれば、



▲街区公園 (西真美)

各地域の幼稚園の園庭を、公園として開放することは考えられないか。

〔教委事務局長〕幼稚園施設を利用することは有益と考えられるが、管理体制や利用方法などの検証が必要であり、慎重に調査したい。

▼美化奉仕のあり方について

(問) 美化清掃の範囲について。

〔市民生活部長〕自治会では、公園、道路、水路などの公的な場所の美化清掃を実施していただいている。ただ、危険箇所については十分注意し、安全に無理なくできる範囲で実施していただきたい。

(問) 危険箇所の清掃について。

〔市民生活部長〕自治会と事前に検討しており、危険箇所がある場合は業者に委託する等の措置をしている。

(要望) 危険箇所等については行政でしっかり把握をして適切な措置をとっていただきたい。

細井 宏純 議員

▼定額給付金の給付状況と効果について

(問) 本市の評価と効果の検証について。

〔企画調整部長〕対象件数の約92%の給付決定をしている。市民への生活支援などには効果があつたと考えているが、検証は、内閣府の調査結果を待ちたい。

(問) 給付率100%を目指すための方策について。

〔企画調整部長〕市のホームページや広報紙での啓発と、状況によっては個別訪問も考えたい。

▼新型インフルエンザについて

(問) 感染者を出した自治体の対応で本市が参考になった点について。

〔企画調整部長〕当初は、強毒性を想定した防疫体制をとったことはよかったと考える。

また、近隣自治体には早目に公表されたほうがよかつたと思う。

▼既成市街地に不足している子ども遊び場について

(問) 地域の現状と児童公園、ふれあい広場の整備状況について。

〔企画調整部長〕緑の基本計画で定められた街区公園の目標整備量の達成まで残り八カ所となっているが、達成は容易ではない。また、ふれあい

広場は現在23カ所あるが、近年の整備はほとんどない状況にある。

(問) 地域に密着した遊び場をふやすため、ふれあい広場設置費補助要綱を見直してはどうか。

〔企画調整部長〕新たな総合計画を策定する中で、公園・緑地の整備に関する調査も行う。その結果等を踏まえて、公園整備の研究を進めたい。

▼高齢化が急激に進む地域があり、地域によって年齢構成の格差が広がっていることについて

(問) 行政(自治会)執行上の問題点と対応・対策は。

〔総務部長〕本市でも、自治会員の高齢化と減少傾向は避けられない課題である。このことから、世代間交流は必要なことであり、地域の活性化へとつながればと考える。

(問) 児童・生徒が減少し、高齢者が急増する校区の公共施設(小学校等)の継続的な転用について。

〔教育長〕将来、余裕教室が発生した場合を想定して、その有効活用について調査検討を重ねたい。

(問) 学校施設の活用としては、福祉関係も含めもっと広範囲での活用も必要と考えるがどうか。

〔教育長〕基本的には学校教育の活動などに優先的に活用したいが、地域の方々と調整して考えたい。

下田 昭 議員

▼エコについて 香芝市の現状と取り組み

〔問〕香芝市での取り組みについて。

〔市民生活部長〕香芝市地球温暖化対策実行計画を策定し、全職員で取り組んでおり、収集車一台にバイオデューゼル燃料を使用している。

〔問〕電気やガスなどに独自のエコポイントを付与することについて。

〔産業建設部長〕独自のエコポイントについては、調査研究し実施できるか検討したい。

〔問〕香芝市の将来のためにどのようなエコを残したいか。

〔市長〕本市では、少なくとも太陽光発電を庁舎の一施設当たり取り入れ、バイオ燃料関係の予算措置も、将来の環境問題を見据えた中で環境に配慮した未来に残せるまちづくりに取り組みたい。

▼小学校のALTについて

〔問〕小学校の英語活動におけるALTの役割について。

〔教育長〕小学校に導入している外国語活動では不十分であることから、平成二十一年度より先導的試行として、市内すべての幼稚園と小学校に、学級担任教師の助手として授業の補助をし、より充実した授業内容の創

造、教師自身の英語コミュニケーション能力の向上に努めている。

〔問〕新聞では、ALTの時間数が、年間25時間から35時間の小学校（高学年）は57%あるとのことである。本市は20時間程度とあるが、時間数を増やすことはできるのか。

〔教育長〕本市のALTの配置は20時間だが、授業時間は35時間あり、ALT以外には担任の先生が総合的な学習の活用をしている。

〔問〕財政的な負担について

〔教育長〕本年度のALT（二名）の契約費は総額で八百八十一万円であり、大きな成果が期待できると考えている。また、ALTの費用や外国語活動などを効果的に進めていくために学校ボランティアの支援を仰ぐと考えている。

▼通学路の安全確保について

〔問〕通学路の決定方法について。

〔教育長〕通学路は基本的に各学校において決定しているが、いま一度PTAや地域の方々と相談しながら、通学路の適否を精査し、児童・生徒が安全に通学できるようにしたい。



▲通学路として利用されている交差点 (西真美)

中村 良路 議員

▼給食について

〔問〕中学校において現在の弁当給食を実施した経緯について。

〔教委事務局長〕保護者の要望等に基づき中学校給食の調査研究、アンケートを行い、給食理事会で検討の結果、現在の希望購入方式による弁当給食を実施している。

〔問〕中学校給食の基本方針は。

〔教委事務局長〕学校教育の一環として生きた教材としての活用、食生活に関する家庭教育の活性化、栄養摂取の確保を目的とし、食に関する学習や教育を推進していきたい。

〔問〕弁当給食の平均喫食数と今後の取り組みについて。

〔教委事務局長〕平成二十年度の平均喫食数は約七十食である。随時アンケート調査を行い改善をしている。今後も、献立の工夫をしつつ、食の重要性の啓発活動に努めたい。

〔問〕中学校給食を完全実施するための必要な予算額について。

〔教委事務局長〕1校あたり建築費等が約五千万円、人件費が約二千万円と試算している。

〔問〕中学校の完全給食実施の要望もあるが、子供の成長過程に必要な食についての考え方について。

〔教育長〕現在の持参弁当と、給食弁当の併用方式が適切であると判断しており、今後も新しい情報、要望を考慮し、よりよいあり方を探求していきたい。また食は、健康や人間形成全体にかかわる重要な要素であり、子供や家庭に対しても食育の重要性について訴えていきたい。

▼公共バスについて

〔問〕全路線の平均利用者数と最も多い利用路線はどこか。

〔総務部長〕一日平均約五百人の利用があり、最も多い利用路線は関屋方面を巡回している西ルートである。

〔問〕新ルートの新設や利用運賃、自由乗降について。

〔総務部長〕都市計画道路の整備にあわせ、新たな運行計画を作成し、その中で受益者負担の原則とバス停間の自由乗降も検討したい。ただし、現時点での、スーパー等への自由乗降は考えていない。

〔要望〕公共バスの路線や停留所の拡充等について、きめ細かい対応をお願いする。



▲公共バス (あしびハイツ前)

橋本 元秀 議員

▼歴史と伝統ある街づくりについて
 (問) 環濠集落を初めとする歴史遺産の検証と近隣歴史行事の認識と参加について。

〔企画調整部長〕 歴史的な町並みの整備には、個人や地域の協力が必要であり、なかなか進んでなかった。新たな統一的な検討も必要であり、今後の研究課題としたい。

〔教委事務局長〕 市内には多くの文化財があり、歴史遺産として、後世に伝えることが必要と考える。

また、市内や近隣地の歴史的伝統行事が継承されるような教育を可能な範囲で行いたい。

(要望) 伝統を守るという意味で推進していただきたい。

▼明るく元気で安全な街づくりについて

(問) 健康スポーツ活動の推進について。(高架道路下等の有効利用)

〔企画調整部長〕 生涯スポーツへの関心は日ごとに高まりを見せている。そのため、気軽にスポーツができる場所の整備は必要であり、現下の補助



▲中和幹線の高架下 (北今市)

金等の運用で対応したい。

高架道路下は、市の利用に限らず、要望等を踏まえた上で活用方法の検討を行いたい。

(問) 中学校給食の現状と課題について。(食の安全と食育の推進)

〔教委事務局長〕 現状の持参弁当と弁当給食の組み合わせがよい形だと考えており、弁当給食については、生徒の嗜好調査や献立研究を続け、より安全安心でおいしいものとした。

(問) メニューの改善と、弁当給食の運営上の問題について。

〔教委事務局長〕 弁当給食の配布等の運営は善処をし、メニューについてはさらなる工夫を続けたい。

(要望) よりバランスのよい食事と保護者の負担軽減をお願いする。

(問) 地域の活性化と防犯について。(商業施設誘致)

〔企画調整部長〕 商業施設は単に買い物場ではなく、地域社会の防犯やコミュニケーションなどの生活の大切な空間を担っており、地域の活性化のためには必要であると認識をしている。今後商業施設の誘致を考えたまちづくりを行いたい。

(問) 玄関での花作り運動で防犯効果が上がった例があるが。

〔企画調整部長〕 防犯対策としての花づくり等は今後の課題としたい。

奥山 隆俊 議員

▼メンタルヘルスケアの現状と今後の対応について

(問) 市役所の各所管における現状把握について。

〔企画調整部長〕 職員の健康管理は重要であり、メンタルヘルス不調となった職員を早期に見出し、対応に導く方策として、安全衛生委員会において「職員メンタルヘルス確認プラン」、「職場の点検プラン」、「病休者職場復帰プログラムプラン」、「メンタルヘルス予防プラン」を提案し実施している。

(問) 現在の休職者数について。

〔企画調整部長〕 心の病が原因で四名休職している。

(問) 最近の増減傾向はどうか。

〔企画調整部長〕 増加傾向にある。

(問) 管理職のメンタルヘルスに対する意識づけの方策について。

〔企画調整部長〕 管理職には、職員をよく観察し、また話しやすい雰囲気、良好な職場環境づくりに努めるよう指導している。

(要望) 管理職は責任を持って職員を見ていただきたい。

(問) 産業医等を含めた全庁的な取り組みについて。

〔企画調整部長〕 産業医からのアドバイス等、総合的な取り組みを安全衛

生委員会を通じて実施していきたいと考えている。

(要望) 心の病、心の問題は大変根深いものであり、プライベートにもかかわる取り組みにくい問題ではあるが、各所属の職員の対応、特に管理職の意識がキーポイントになるので、十二分に認識して取り組んでいきたい。

(問) 学校教育現場における現状把握について。

〔教委事務局長〕 心の病による教員の休職等は、年々ふえ続けている。本市では、スクールカウンセラーを各中学校に配置し、心の相談体制として教師、児童・生徒間のカウンセリングを行っている。また、校園長会等を通じ、メンタルヘルスの重要性を認識し、円滑な人間関係を心がけるといふ予防策と精神的変化の早期発見に努める等の配慮をするよう指導している。

(問) 現在の休職者数について。

〔教委事務局長〕 市内の小中学校で心の病により休職中の教職員は四名である。

(問) 学校での取り組みについて。

〔教委事務局長〕 問題に対しては、組織で取り組むこととし、悩み等を個人で抱え込むことがないよう配慮をしている。

川田 裕 議員

▼香芝市の重要施策において、多大な借金により実施の先送り事業に対し、今回の国の補正予算の運用にて前倒しすることにより、三年後以降の市財政負担を軽減する計画を立てる必要性について

〔総務部長〕今回の地方財政措置を活用することにより、三年後以降の市財政負担の軽減に取組みたい。

（問）補正予算（一億八千万円）はどのように使うのか。

〔総務部長〕財政健全化より翌年度以降の実施計画事業に充てたい。

〔市長〕今回の補正予算は、不安要素も存在し、十分に精査する。

▼国、県の補助金がらみの施策で、市予算の経常経費につながるものの徹底的排除について

〔総務部長〕補助金がらみの施策で将来補助金を外されれば市予算の経常経費につながる事業は安易に採択してはならないと考えている。

（問）補助金がらみの施策の結果検証はどうしているのか。

〔総務部長〕補助事業の効果検証は難しく、今後の補助事業は、市負担を十分に認識し、慎重に判断する。

（要望）結果検証の徹底、無駄の排除、改善等を早期実施すること。

▼徹底改善を訴えてきた負担金支出方法の改善進捗状況について（一括で支払っても相手先で寝ている資金と本市では一時借入金を借りている矛盾は市民損害、分割支出の徹底）

〔会計管理者〕一時借入期間を更に軽減できるよう精査する。また、支払の多い団体は協議調整を図り、市民損害のない資金運用に努めたい。

▼学童保育の学年拡大、児童福祉施策の本質について

〔保健福祉部長〕入所児童は増加傾向にあり、施設のスペース、人的、財政的な面から拡大は困難であるが、重要課題から調査研究を進める。また、児童福祉施策の本質とは、子供を産み育てやすい環境作りと考える。

▼地域福祉計画の策定がスタートしたが、本年度の年間計画について

〔保健福祉部長〕先ずはアンケート調査により、実態把握に入る。

（要望）福祉計画に、公共バス施策も含めて取り組んでいただきたい。

▼重複施策の一本化と、組織抜本改革の計画の進捗状況について

〔企画調整部長〕来年度には、政策体系別組織の行政組織に再編し、無駄を省きたい。

（要望）先ず、どのような市にするかを決定し、それを実現するための組織構築に取り組んでいただきたい。

中山 武彦 議員

▼発達障がい児の総合的な支援策について

（問）保育所や小学校等での支援の現状と問題点について。

〔保健福祉部長〕保育所では、医師等の巡回相談で、対応や支援等の具体的な指導を行っている。支援の継続が課題となるが、所内研修等で共通理解し対応している。学童保育所では、支援経験や知識が少ないので、今後研修の充実を図りたい。

〔教委事務局長〕幼稚園では、各園一名の副担任教諭を配置し細やかな指導をしている。小・中学校の特別支援学級では、個別の指導計画を立てて指導を行っている。

各学校では発達障がいの子の特徴やかかわり方を、他の児童・生徒に伝えるのが難しく課題となっている。

（問）早期発見、早期支援のため五歳児健診の実施などについて。

〔保健福祉部長〕保健センターでは育児相談や子供の疾病や脳神経発達障がいの早期発見、早期治療を目指して、健診、相談事業を行っている。

発達障がい者支援センターは、現在繁忙を極めており、五歳児健診を行うのは非常に難しい現状である。

（問）とぎれのない個別指導、総合的な支援策について。

〔保健福祉部長〕関係各課が連携をとり、発達障がいを早期発見し、療育につなげるよう取り組みたい。

〔教委事務局長〕平成二十年度に個別指導計画の形式を整え、途切れないよう支援を行っている。

（問）総合的に対応できる組織の実現について。

〔企画調整部長〕発達障がいの児童等については、保育所や幼稚園、小学校等で連携し支援している。

▼女性特有のがんの検診推進事業について

（問）事業の目的と事業内容、期待される効果について。

〔保健福祉部長〕健康長寿、子育て支援として、がん検診を実施し、がんの正しい意識の普及啓発を図り、健康増進に寄与するものである。

（問）検診対象者の把握、検診手帳の準備と実施の目的について。

〔保健福祉部長〕対象者は、住民基本台帳に基づき受診票等の個人通知を行う。検診手帳等の印刷が整えば、十月から三月までの期間に受診できるように準備したい。

（問）受診率の向上について。

〔保健福祉部長〕県内外の医療機関で受診できるよう配慮し、保健センターでの集団検診回数を増設し、受診率50%を目指したい。

池田 英子 議員

▼学童保育所について

(問) 学童保育所の学童数、指導員数等の現状について。

〔保健福祉部長〕 現在十校区、十二施設で事業を実施しており、六月一日現在で定員五九〇名に対し五三八名、そのうち障がい児童は十六名入所している。指導員は、常勤職員が十七人非常勤職員が四十人である。

(問) 老朽化している学童施設の修繕の計画はどうか。

〔保健福祉部長〕 一部老朽化が進んでいるのが現状であり、入所児童の増加等に伴い増築等を行うとともに、床や屋根等の修繕工事を進めている。



▲関屋学童保育所

(問) トイレや手洗い等の増設、救護室の設置について。

〔保健福祉部長〕 緊急性等を考慮し、施設の改善等を含めた整備を計画的に図りたい。施設整備は、財政状況等から容易ではないので、小学校等の余裕教室の有効利用について教育委員会と連携を図り、よりよい方を検討したい。

(問) 指導員の労働実態について。

〔保健福祉部長〕 毎日の保育内容は、宿題の勧めや遊び等の活動を通じての基本的な生活習慣の手助けや、また施設の衛生管理、児童の健康面にも留意している。

今の雇用条件から、人材確保は厳しい状況であるが、今後さらに人材を確保する必要があるので、雇用条件等の見直しを検討し対応したい。

(問) 土日等のサービス労働もあると聞いているがどうか。

〔保健福祉部長〕 雇用条件等の見直しをして対応していきたい。

(要望) もっと現場の声を聞いて改善に取り組んでいただきたい。

▼医療費の中学校卒業までの無料化について

(問) 中学生までの無料化による費用について。また、東京都が医療費中学校卒業まで無料にしたことに対する市の見解について。

〔市民生活部長〕 中学校卒業までの医療費の無料化には、新たに約九千万円が必要となる。

東京都は財政的に安定しており可能であるが、本市の財政状況下では医療費の中学校卒業までの無料化を実施することは非常に困難である。

(要望) 中学校卒業まで医療費の無料化をお願いする。

池原 道生 議員

▼学校グラウンドの芝生化について

(問) 小中学生の体力低下問題についての現在の取り組みについて。

〔教育長〕 昨年度の全国体力測定の結果については不本意であった。校長会でも報告し、体力向上の創意工夫をお願いした。

今後は体力調査検討委員会的なものを立ち上げ対応策を考えたい。

(問) 香芝未来プランのアンケート結果からも小学校グラウンドの芝生化が最適ではないか。

〔教育長〕 本市の学校施設は植栽による緑も多く、自然環境に恵まれた環境にある。小学校グラウンドの芝生化については慎重に考えたい。

(問) 本年度の県事業で、小学校運動場芝生化推進モデル校の募集があったが、なぜ香芝市は申し込まなかったのか。また、保護者へアンケート等おこなったのか。

〔教育長〕 市内小・中学校に対し運動場の芝生化等の意向調査をした結果である。保護者等へのアンケート調査は実施していない。

(要望) アンケート実施により新たな事項も鋭意検討できるので、実施を要望する。

(問) 環境面からの香芝市小学校の

グラウンド芝生化に関しての考え方について。

〔教育長〕 強風時の砂ぼこりの防止や、降雨時の土砂の流出防止などに効果があり芝生化の利点もあるが、芝生化は今後の調査研究課題としたい。

(問) 鳥取方式の視察や芝生化に向けての勉強会の開催について。

〔教育長〕 現時点においては、時期尚早である考えられる。

(要望) 香る芝の市として、小学校グラウンドの芝生化への取り組みを要望する。



▲鳥取方式芝生化工法の例(植え付け後約2カ月)

▼男女共同参画について

(問) 男女共同参画宣言都市として香芝市での条例制定を視野に入れた取り組みについて。

〔市民生活部長〕 条例制定に向けた調査研究に積極的に取り組みたい。

(要望) 香芝市ならではの男女共同参画条例制定をお願いする。

(問) センター機能も併せ持つ総合的な施設について。

〔市民生活部長〕 財源確保の問題等もあるが、既存施設の活用も含め検討課題としたい。

議会の傍聴においでください



9月定例会日程(予定)

9月		
3(木)	本 会	議 会
4(金)~6(日)	休	休
7(月)~9(水)	決 算 特 別 委 員 会	会 議
10(木)	総 務 財 政 委 員 会	会 議
11(金)	民 生 文 教 委 員 会	会 議
12(土)~13(日)	休	休
14(月)	建 設 水 道 委 員 会	会 議
15(火)~16(水)	一 般 質 問	会 議
17(木)~23(水)	休	休
24(木)	本 会	議 会

※詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

全国市議会議長会より表彰を受けられました。



藤本みや子前議員



高谷 廣前議員



黒松康至議員

平成21年5月27日に開催されました全国市議会議長会定期総会において、本市からは黒松康至議員が全国市議会議長会評議員の功績に対して感謝状を受けられ、さらに高谷廣前議員及び藤本みや子前議員においては、市会議員として20年以上の長きにわたり市勢の発展に尽くされた功績に対して表彰を受けられ、6月定例議会でそれらの伝達が行われました。

おめでとうございます。

<p>● 8月</p> <p>26日 特別委員会</p> <p>24日 第5回新型インフルエンザ対策特別委員会</p> <p>10日 第4回新型インフルエンザ対策特別委員会</p>	<p>● 7月</p> <p>3日 第3回新型インフルエンザ対策特別委員会</p> <p>23日 鹿児島県始良町行政視察来庁</p>	<p>● 6月</p> <p>29日 臨時会</p> <p>28日 関屋小学校 議場見学</p> <p>3日 真美ヶ丘西小学校議場見学</p> <p>5日 第1回新型インフルエンザ対策特別委員会</p> <p>8日 本会議</p> <p>9日 鎌田小学校議場見学</p> <p>10日 総務財政委員会</p> <p>11日 民生文教委員会</p> <p>15日 一般質問</p> <p>16日 一般質問</p> <p>18日 第2回新型インフルエンザ対策特別委員会</p> <p>19日 本会議</p> <p>30日 県知事へ「意見書第1号」を提出</p>	<p>● 平成21年 5月</p> <p>28日 関屋小学校 議場見学</p>
--	--	--	---



議会目録

編集後記

秋風を感じるすがすがしい気候になりました。今年5月に国内初めて新型インフルエンザ感染者が確認され、最近では死亡者も出ております。

今後、本格的な流行が危惧されている中、香芝市議会は感染の広がりをできる限り抑え、健康被害を最小限にとどめるとともに市民の方々を混乱させないために、特別委員会を設置し、対策を講じておりますが、これ以上の被害が出ないことを願うばかりです。

九月定例会は、平成20年度の一般会計を審査する決算特別委員会もございますので、ぜひ傍聴においでください。

また、ご意見等がありましたら、議会だより編集委員会(議会事務局内)までお寄せください。

議会だより編集委員会

- 委員長 中村 良路
- 副委員長 堀川 和行
- 委員 芦高 省五
- 委員 森井 常夫
- 委員 橋本 元秀
- 委員 川田 裕彦
- 委員 中川 山武彦

